

知っちよる？

しものせき

東亜大学編

このページは、ジュニアのページ(J'sページ)として市内5大学と連携して作成しています。小・中学生、高校生に向けて、毎月、大学のユニークな取り組みや役立つ情報を分かりやすく紹介するコーナーです。記事は、月ごとに各大学が持ち回りで担当しています。

今月の担当は東亜大学です。

東亜大学「子どもみらい塾」

みんな、知っちよる？
東亜大学「子どもみらい塾」は、小学校教諭や幼稚園教諭、保育士などを目指す東亜大学の学生が主体となって、大学近隣の小学校に通う子どもたちを対象として、月に1・2回、土曜日の午前中に、遊び・運動・勉強の各コーナーに分かれて行うボランティア活動の場です。
学生にとって、実際に子どもたちとふれあうことができるため、将来、教員や保育士になるための貴重な経験の場になっており、卒業生もこの経験を生かして小学校・幼稚園・保育所の先生として活躍しています。

遊び・運動・勉強コーナー

遊びコーナーでは折り紙や昔ながらの遊び、室内遊びを行っており、運動コーナーでは外でしかできない遊びやスポーツ・運動を行っています。また、勉強コーナーでは学校で出された宿題や簡単な実験などを行っており、子どもたちにもその日に活動したいコーナーを決めてもらい、それぞれの場所で活動しています。子どもたちは、年間を通じて同じコーナーで活動をしたり、さまざまなコーナーを行き来して活動をしたり、子どもたちによって活動の仕方は異なります。

さまざまな企画・イベントを開催

過去には、子どもたちに喜んでもらうと、特別企画として「秋祭り」のイベントを実施したこともあります。当口、子どもたちは「みらい銀行」なる仮想の銀行で発行した「子どもみらい塾」で使用できる手作りのお金(模擬通貨)を利用することによって、射的やボーリング、輪投げなどの模擬店の企画を楽しんでいました。

未来のすてきな先生

企画やイベントの準備を一生懸命行った学生も、子どもたちの楽しそうな顔を見ることによって苦労が報われたと喜んでいきます。参加学生が、「子どもみらい塾」の活動を積極的に取り組むことによつてすてきな先生になってくれることを期待しています。



「子どもみらい塾」の企画を始める際の様子



「秋祭り」での紙に描いた魚を釣る様子



「秋祭り」での射的の様子



「秋祭り」での輪投げの様子